

# 親子の学び応援講座



〈目的〉 本県における家庭教育の推進に向けて、柳津町立会津柳津学園中学校 PTA を対象に講座を行い、親の学び・家庭での実践活動を支援する。

## 会津柳津学園中学校 PTA における講座の様子

- ◆とき 令和3年7月3日(土) ◆ところ 会津柳津学園中学校 体育館
- ◆参加者 112名(生徒、保護者、教職員)
- ◆講演 演題：ソーシャルメディア・スマートフォン利用の光と影  
講師：会津大学 情報セキュリティ学講座  
上級准教授 中村 彰人 氏

〈テーマ設定の理由及び実践活動のねらい〉

実際の事件や身近に存在する危険を理解し、自分で考えることを通してインターネットを安全に利用する素養を身に付ける。

〈要点〉

(1) **トラブルに巻き込まれないために、どんなことが起こっているのか知ること**

- インターネット上には、悪意を持った利用者もいる  
(盗む、騙す、利用できなくする)
- サイバー空間の特徴  
(非対面生、匿名性、多数へ発信、複製が容易・削除が困難)

(2) **具体的なトラブル事例**

- 自撮り被害(中高生) ○ SNS など誹謗中傷
- LINE でのいじめ ○ コンピュータウイルスを作る(重い犯罪)
- オンラインゲーム課金(親のクレジットカード無断で使用)

(3) **使い過ぎ防止のためには、親子でルールを考える**

- 日常生活に支障が出るときは、使い過ぎ
- 親が、一方的にルールを決めるのはダメ
- やらされるルールではなく、自分から守ろうとするルールへ

(4) **メディアを使用する時は、言葉の使い方に気を付ける**

- 相手が見ない分、肯定的な言葉を使う
- 仮想的な他者の気持ちを考えるには、本を読み、物語を通じて人の気持ちを理解する

## 参加者の感想から

- 資料以外の内容も、分かりやすく丁寧に話していただき、いろいろと勉強になった。スマートフォンやゲーム機を使う上での注意やマナーなど、家族で話し合い、ルールを決めて守っていきたい。(生徒)
- SNS の中だけでなく「いじめ」そのもののことについての説明があったので良かった。使い過ぎについての話を聞いて、これからのスマホとの付き合い方について考えていこうと思った。(生徒)
- 自分と人は違う、違いを認めるということが大事だと思った。スマホの見過ぎは健康にも害があるので気を付けたい。(生徒)
- インターネットには、良いところも悪いところもあるという講演を子どもと一緒に聞くことができ、家に帰ってからインターネットの使い方について話しやすくなったと思った。使い方について考えるきっかけになればよいと思う。(保護者)
- スマホや SNS の話はもちろん大切でしたが、最後の「言葉を大切に使うこと」「他者との違いを認めることなど人としての基本的な在り方を再認識できた講演会でした。(教職員)
- ゲーム依存症が体に与えるダメージなどについて、具体的な事例も含めて、生徒にもっと詳しくお話していただきたかった。(教職員)

